

令和5年度 あすなろの家 事業計画

令和4年度

コロナのクラスター感染、通常に戻りかけたところでの台風被害。想定外の事態が起こった中ではあったが、あすなろの持ち前の団結力と明るさで乗り越えたように感じる。「繋ぐ」をワードとして、毎日人と繋がること、あすなろとして地域や新しい分野と繋がっていくことを意識しながら過ごしてきた。また、メイトさんの導入、特養業務の変更、デイ業務の変更等大きな挑戦も行ってきた。多くのことを変更し改善させることのできた年度となった。

「本物のケア」では前年度同様、「教えてほしい」リクエストによるESRの介護技術指導、SC委員会による自立支援介護の在宅利用者事例検討を通じた学習会、自立支援介護4つの基礎講座の全職員受講は行ってきた。職員さんの興味、意欲をどう引き出していくのかが課題である。また、コロナ感染によるサービスの休止を通し、私たちの提供しているサービスがご利用者の生活の中でインフラとなっていることも痛感した。

「本物の接遇力」言葉を大切に扱う、目指せ地域のピカイチ接遇を掲げ、有志による寸劇を用いた研修会、ありがとうリンゴの取り組みを行った。福祉サービスの虐待が続き、社会問題として取り上げられ始めている現在、職員を守る目的で監視カメラの導入の検討も始めている。あすなろの家の接遇力、もう一步…。全員ができる！それが課題である。

「本物の繋がり」計画通りにできなかった部分もあったが、「七夕ウォークラリー」「ミニ参観会」「カフェすまいる」「みんなのほけんしつ」「ひかりサロン水族館遠足」「S型バス」「レッツポール体操」「ケアハウスクラフト教室」などたくさんの企画を行い、繋がる事が出来た。繋がったお店や会社に毎月通信を届けるなど、繋がりを継続させる工夫も行った。「福祉ワールド」と「新しい人材」を繋ぐあたりが進まなかったところである。台風による断水被害の際は、待っていないでとにかく動こうと団地を周り、一部の皆さんからは感謝されたそんな場面もあった。

「私たちが」では、職員さんから「私やります」を募って、一緒に作り上げる取り組みを意識して増やしてきた。特に厨房については、職員のやりたい！を実行に繋げる取り組みを行ってみた！課題が多い分野ではあるが、少しずつじっくり取り組んでいく。

- 1、設備
 - ・ベッド 車いす ・特養トイレ床 ・監視カメラ ・段差解消 ・壁紙内装
 - ・厨房床 ・車（2台） ・職員手洗い自動水栓化 ・パンフレット
 - ・Web サイト
- 2、人材育成
 - ・人事制度（キャリアパス・成長支援シート ・考課者面談
 - ・施設長面談（虐待意識確認含む） ） ・内部研修（年間20程度）
 - ・新人研修 ・ESR主催介護技術研修 ・考課者研修
 - ・☆1主催接遇関係研修（虐待関連含む） ・リーダークラスの育成強化
 - ・月1回の部署会議の充実
- 3、人材確保
 - ・人事制度充実 ・実務者研修支援制度 ・5連休制度継続
 - ・柔軟な勤務体系 ・あすなろの仕事の魅力 ・Web サイト開設
 - ・小学生夏休みあすなろの家へ来てみよう インスタ活用 ライフサポート員
- 4、地域行事
 - ・和出張相談 ・ファミマ何でも相談会 ・S型訪問、活動支援
 - ・カフェすまいる ・参観会 ・七夕竹飾り出展 ・港まつり総踊り参加
 - ・山原山清掃（年2回） ・山原盆踊り参加 ・飯田まつり参加
 - ・飯田生涯学習館祭り参加 ・山原秋祭り参加 ・地区防災訓練参加
 - ・S型デスタッフ懇談会開催 ・飯田地区調理実習支援
 - ・飯田小運動会見学 ・飯田小音楽会見学 ・ボランティアさん調整

- ・集まらないウォークラリー・レッツポール体操・Hikariひろば
- ・みんなのほけんしつ ・ケアハウスでんでん体操、エコクラフト教室
- ・あすなる通信配布 ・インスタ投稿

5、防災

- ・委員会開催 6回／年開催 防災訓練内容打合せ・非常用備品確認・BCP打合せ
- 防災訓練 特養 1階・2階それぞれ2回／年実施（火災・土砂災害）
- ケアハウス 2回／年実施（火災・土砂災害）
- デイ 地震・火災訓練1回／年実施

6、各事業

- 特養** おむつゼロ達成にこだわる。座薬ゼロ。自立支援介護の知識、技術、経験値を発信。認知症への理解をさらに深める（認知症行動障害スケールを活用）。在宅相互利用の活用。相手に決めてもらう声掛けを。
- ショート** ハッピープランの実施、行事から日常へ。知識の取得と状態観察の力をつけADL向上、認知症改善へ。利用者さんが安心できる対応を。接遇研修の実施。ショート通信年4回発行。事例、知識の発表年2回の報告会。
- デイ** ESR 研修全員参加。SHIGOTO の選択肢を増やし「やってみたい」を増やす→SHIGOTO する→コバンをもらう→ためる、つかう→喜びを感じる。SHIGOTO する→ありがとうと感謝される→生きがいを感じる→喜びを感じる。の流れをつくりあげる。メンズのためのメンズデイ。金太郎接遇で地域1番ピカイチ接遇。体験会実施。
- ヘルパー** ご利用者の在宅生活を支えるプロとして、ESR 研修で技術を確認し、自立支援介護の知識でご利用者を元気に。一緒に楽しむことを大切に認知症ケア認知症ご利用者の理解へ。ヘルパーの仕事を多くの人に知ってもらう取り組みを企画。
- 居宅** やる気が出る！元気になる！！ケアマネジメントを作る。（楽しみ、生きがい、役割）自立支援介護に本気で取り組む。福祉介護業界に限らない新たな繋がりを。自分たちの仕事をケアマネ通信を活用して発信！
- ケアハウス** 安心、安全、自立の継続。認知症を学ぶ。ケアハウスをもっとつなげる場所へ！地域の方が興味のあること、ケアハウスの方が興味のあることを探し企画。
- 厨房** 「おいしそう！食べたい！食べよう！と感じて笑顔になれる食事」「このくらいなら食べれるしょ！」ではなく、その人にあった食事を出せることがプロ。食を通して笑顔を作る！ご利用者を職員を地域を笑顔に！
- ひかりサロン** 買い物×体操で心も体も元気に！買い物の効果を言語化しPR。Hikariひろば、体験会。

7、令和5年度各事業部目標数値

サービス名	目標利用率
特 養	99%以上（空床日数174日）
ショート	95%以上（19名/日以上）
デイ	95%以上（33名/日以上）
ヘルパー	15ケース/日以上
居 宅	36ケース/1人
ケアハウス	100%以上（空床日数 0日）
厨 房	給食費5%削減（約100万円）
ひかりサロン	80%以上（19名/日以上）